（別紙４）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターきらり（保育所等訪問支援）			
○保護者評価実施期間	令和7年11月10日		～	令和7年11月28日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数）	3
○従業者評価実施期間	令和7年11月14日		～	令和7年11月27日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	12	（回答者数）	12
○訪問先施設評価実施期間	令和7年11月10日		～	令和7年11月28日
○訪問先施設評価有効回答数	（対象数）	4	（回答数）	2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・特に、肢体不自由児や重症心身障がい児に向けた、多職種による専門性の高い支援を実施していること。	・訪問支援員として、理学療法士、看護師、心理士、保育士、児童指導員を配置している。 ・毎回、職種の異なる２人以上の訪問支援員により支援を行っている。 ・支援ごとに画像を添付した支援記録を作成し、訪問先施設及び保護者と共有している。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・対応可能な支援件数が限られていること。	・訪問支援員は、全て、児童発達支援センターきらり（児童発達支援）との兼務であり、訪問支援を担当する職員が限られているため。	・訪問支援は、特定の職員に偏らず、幅広く職員が参加し、業務を分担できるよう調整を行っている。